

4名の審査員から、熱いコメントが届きました！

第6回 「iのあるメール大賞」作品募集中！

“ドコモグループ各社賞”には賞金7万円を贈呈！

NTTドコモグループでは、2007年9月1日(土)から2007年11月4日(日)までの約2ヶ月間、第6回「iのあるメール大賞」の作品募集を行っています。全国から寄せられた作品は、秋元康さん、松本侑子さん、田中圭さん、黒木メイサさんら豪華審査員によって厳正な審査が行われ、2008年1月にグランプリを発表致します。

この「iのあるメール大賞」は、日常生活の中で当たり前なものになっているメールコミュニケーションに着目し、2002年から毎年行っているものです。

今回は、審査委員長の秋元康さんをはじめとした4名の審査員の方々からコメントを頂いています。

思わず笑ってしまったメール、涙が出てきたメール、恥ずかしくて直接言えない想いを伝えたメール、そんな心温まるメールを広く集めて紹介することで、メールコミュニケーションを一つの「文化」として育てていきたい、とNTTドコモは考えています。

< 家族でやりとりしたあたたかいメールなど、あなたのケータイに眠っていませんか？ >

募集期間はまだまだ続いています。おじいちゃん、おばあちゃんが送ってくれた初めてメール、家族からもらって思わず涙が出てきたメールなど、あなたのメールボックスの中に「iのあるメール」はございませんか？「iのあるメール大賞」ではたくさんの方からのご応募をお待ちしています。

< 掲載用QRコード >



<http://i-arumail.jp/pr/> (ドコモのケータイ・パソコン共通URL)
バーコードリーダー対応機種にて、上記バーコードを読み取るだけでアクセス可能。
傷・汚れ破損、光の反射などによっては読み取れない場合があります。

< 本件に関する報道関係者様 お問い合わせ先 >

「iのあるメール大賞」PR事務局(株式会社プラチナム内) 担当:市川・大澤
Tel: 03-5572-6073 FAX: 03-5572-6075

< 本件に関する一般読者様 お問い合わせ先 >

「iのあるメール大賞」事務局
Tel: 0120-767-410(全国着信対応)
平日午前10:00～午後6:00(土日祝日を除く)

松本 侑子さんからのコメントが届きました！

Date: 2007/10/ ● ●

Title: 第6回「iのあるメール大賞」作品募集

From: 松本 侑子さん



恋人たちがやりとりする携帯電話のメールには、いつも「i」があふれていると思います。

「愛している」「好きだよ」という言葉に、ハートマークも満載でしょう。
けれど結婚して家庭をもつと、携帯のメールは、「業務連絡」になりがちです。

「お母さん、今夜は帰りが遅くなるよ」とか、「お父さん、駅までむかえに来てね」、「塾は7時ですよ、忘れずに
行きなさい」とか……。

友だちと交わす携帯メールも、待ちあわせの相談、「遅れます」といった、連絡事項が多い気がします。

携帯のメールは、そうした連絡を、外出先から簡単に送信できるのが利点の一つですが、ときには、
「業務連絡」だけではなく、大切な人に手紙を書くように、「i」のあるメールを送ってみる……。
ハートマークをつけるのではなく、感謝の気持ちや思いやり、励まし、好意、なぐさめ、ほめ言葉を、文章に
して、さりげなくつたえる。

「iのあるメール大賞」は、そうした携帯メールの豊かな可能性を、人と人をつなぐ言葉の力を、あらためて
教えてくれる催しだと思います。

受賞作品の紹介

家族からもらったメールpart 1

絵文字を打ちたい父。



第5回 準グランプリ作品

受賞者: 貝瀬 一恵さん

タイトル: 「教えてくれ」

<エピソード>

最近携帯を持ち始めた56歳の父からの初めてのメールです。すっごく頑固で不器用な父がふとかわいらしく感じられました。今では絵文字の達人です！

祖父からの初メール。



第4回 入賞作品

受賞者: 柴崎 ひろみさん

タイトル: 「無題」

<エピソード>

75歳の祖父からの初めてのメールです。メールなのに、「もしもし」って……。でも、きっと作成するのに時間かかったんだろうな～と、何だか心温くなりました。

受賞作品の紹介

家族からもらったメールpart 2

両親からのデコメール



第5回 準グランプリ作品

受賞者: 篠永 哉乃さん

タイトル: 「記念日」

<エピソード>

県外へ嫁いで二年。
二年目の記念日を目前に、仕事と家庭のバランスがうまく取れず、主人とケンカばかりしていた私に、両親から届いたメールです。
兄から教えてもらい作成したんでしょう。
決してセンスが良いとはいえませんが、両親の伝えたい想いが胸に刺さり、自分のふがいなさに涙が止まりませんでした。
離れていても温かく見守ってくれている両親に心から感謝しています。

誕生日メールを待つ父。気遣う母。



第5回 準グランプリ作品

受賞者: 海野 貴稔さん

タイトル: 「お願い!! 母より」

<エピソード>

2人の息子もち、厳格な父。
母は兄にもこのメールを送っていたそうです。
僕がメールを送った後すぐに父から電話がきて『メールありがとう』と嬉しそうに言われました。
今でも父の誕生日には母からこんなメールが届きます。

第6回 「iのあるメール大賞」作品募集要項

- 名称： 第6回「iのあるメール大賞」
- 応募期間： 2007年9月1日(土) ～ 2007年11月4日(日) 23時59分59秒
- 応募資格： 日本国内に在住の方 国籍・性別・年齢問わず
- 応募方法： ドコモのケータイ(FOMA/mova)もしくはパソコンから、<http://i-arumail.jp/pr>にアクセスし、ガイドに従って応募。

	テキストメール	装飾メール
対 象	文字、絵文字、顔文字などテキストで作成されたメール	色つき文字、背景色、文字の動きなど、装飾されたメール(ドコモのデコメールやパソコンのhtmlメールなど)
タイトル	全角20文字以内 (英字は半角40文字以内)	全角20文字以内 (英字は半角40文字以内)
メール本文	全角5,000文字以内 (英字は半角10,000文字以内)	10Kバイト以内
エピソード	全角250文字以内 (英字は半角500文字以内)	全角250文字以内 (英字は半角500文字以内)

- 発表方法： 審査員による厳正な審査の上、受賞作品を決定し、2008年1月以降、新聞・ホームページ上などで発表させていただきます。
- 賞設定： グランプリ【30万円】 1作品 準グランプリ【各10万円】 10作品
ドコモグループ各社賞【7万円】 18作品 入賞【各2万円】 50作品
- 審査員： 秋元 康、松本 侑子、田中 圭、黒木 メイサ (順不同・敬称略)
- 主催： NTT DoCoMoグループ

< 応募に関するご注意 >

ご応募上のご注意：ご応募の前に必ず下記「応募規約」をご確認・同意のうえご応募ください。
ご応募の際は必ず<http://i-arumail.jp/>よりお願いいたします。ご応募に必要な通信料等は応募者のご負担とさせていただきます。ペンネームや架空のお名前での応募はお断りしております。次の応募作品は審査および受賞の対象外とさせていただきます。(1)未発表オリジナル作品でない作品 (2)第三者の著作権やプライバシー等の権利を侵害し、またはそのおそれのある作品 (3)公序良俗に反し、または反するおそれのある内容の作品 (4)誹謗中傷、営利を目的とした内容の作品 (5)メールマガジンやメーリングリストのメール、ハイパーリンクがついたメール等による作品 (6)その他、主催者であるNTTドコモグループ(以下、「当社」といいます)により、「iのあるメール大賞」の趣旨に合わない等受賞作品としてふさわしくないと判断した場合 テキストメールのご応募はテキストメールに限らせていただきます。カメラ付きケータイおよびパソコンからの静止画および動画などの添付メールはご応募になれません。装飾メールのご応募は、メール本文容量10Kバイト以内のデコメールまたはパソコンからのhtmlメールに限らせていただきます。htmlメール上でご使用になるフォントについては、一部再現できない場合があります。応募作品の著作権は当社に譲渡していただきます。著作物は当社で共有いたします。その場合、応募者は著作権者人格権を一切主張しないものとします。応募作品の作品中に第三者の著作物(文章・写真・イラスト、装飾メールテンプレートなど)を使用する場合は、必ず著作権者から許諾を受けたうえで応募してください。万一、メールの相手方や第三者から権利侵害、損害賠償等の主張がなされた場合、応募者は自己の責任をもって当該主張の解決を図るものとし、当社は一切の責任を負わないものとします。ご応募の際にお客様が入力された情報は、通信途中での盗聴や改ざんを防止する為、SSL通信により暗号化されて送信されます。したがって、SSL通信に対応していない機器からはご応募できません。応募者の個人情報は適切な方法で管理し、一定期間保管したのち消去させていただきます。また、本コンテストの目的にのみ利用し、目的以外に使用することはありません。お客様の個人情報をお客様の同意なく業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。(法令等により開示を求められた場合を除く) 応募作品については、新聞・雑誌・ホームページ等にて作品および応募者のお名前・年齢・居住地(都道府県名および管轄のドコモグループ各社名)を公表させていただきます。受賞の権利を個人に譲渡または換金することはできません。受賞者のご住所・転居先等が不明でご連絡が取れない場合は、受賞が無効となる場合があります。受賞作品発表後でも、応募規約違反や虚偽の記載、またはその恐れがあると当社が合理的に判断した場合は、受賞者にご通知のうえ、受賞を取り消させていただきます。当社の社員および関係者のご応募はご遠慮ください。

第5回NTTドコモ北海道賞(昨年度) 受賞作品の紹介

作品 1



受賞者: 貝沼 麻美さん

タイトル: 「将来」

<エピソード>

進路・将来の話をしているとき、
『おっきな家も素敵な家具もないよ』
の私のことばに、彼が返してくれたメールです。
ほんわかあったかくなりました。
彼とずっと一緒にいたいと思いました。

作品 2



受賞者: 桜井 比呂美さん

タイトル: 「海の底」

<エピソード>

数年前、職場の人間関係で悩んでいた時に、前のアルバイト先の先輩からもらったメールです。悩みで頭がいっぱいになって、どん底の気分でしたが、このメールを読んでどん底も悪くない、と思えるようになりました。美味しい空気を吸うために頑張ろう、と勇気が湧いてきたのを憶えています。

第5回NTTドコモ東北賞(昨年度) 受賞作品の紹介

作品 1



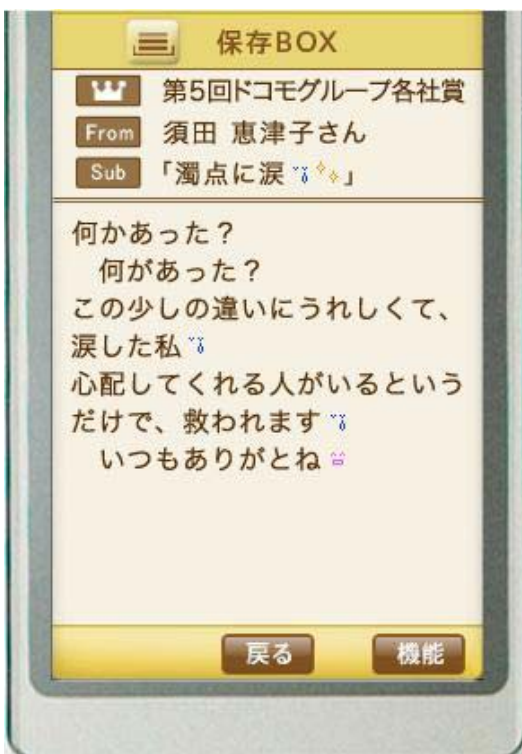
受賞者: 太田 剛さん

タイトル: 「できたの!!」

<エピソード>

妻から突然の、おめでたメール。何年も子供ができず、涙の多い日々の中での待望の妊娠によほど慌て喜んでいたので『できた』という言葉ばかりで笑ってしまいました。

作品 2



受賞者: 須田 恵津子さん

タイトル: 「濁点に涙。」

<エピソード>

悩み事があるとついつい、親友にメールをする私！今までは、何かあった？との親友からのメールだったが最近は何があった？と、本気で心配してくれてる気持ちが、痛いほど伝わってきます。たった少しの違いですが、心が近づいてるような気がしてうれしかったあ！

第5回NTTドコモ賞(昨年度) 受賞作品の紹介

作品 1

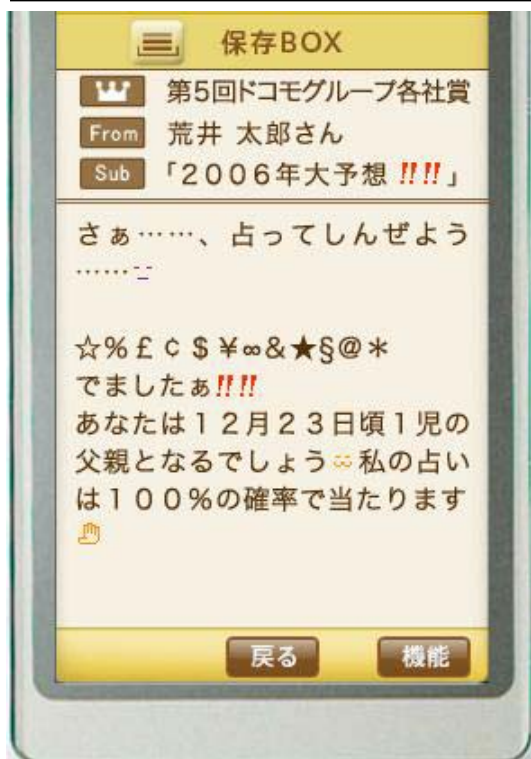


受賞者: 小林 紳一郎さん
タイトル: 「そーきたか。」

<エピソード>

飲み会の帰りに母に迎えを頼んだ時、『よろしく!』を『4649!』と送ってみました。返事は普通に返ってくると思っていましたが、なんと同様の受け答えをしてきて、それもなぜか漢字で…。短いですが母の意外性と偉大さを痛感したメールです。

作品 2



受賞者: 荒井 太郎さん
タイトル: 「2006年大予想!!!!」

<エピソード>

仕事中に届いた妻からのメ-ルです。最初はなんの事だかさっぱり…。そのあとすぐに、妻が妊娠したのだと気が付き、あまりの嬉しさに、おもわずその場で泣いてしまいました! 笑

第5回NTTドコモ東海賞(昨年度) 受賞作品の紹介

作品 1



受賞者: 山口 佳代さん

タイトル: 「やったなあ」

<エピソード>

二人目の出産は立ち会わなくて大丈夫！って強がって上の子と二人で大阪の実家に帰りました。出産日が近づくにつれて、やっぱり不安でパパに近くに居てほしいけど強がりな私。どうしても言えなかった。でも何とか頑張って二人目男の子が生まれ岐阜で仕事をしていたパパに『生まれたよ』メールしたら、こんなメールが返ってきました！デコメなんて送ってくれたことなんてないのに！ありがとうなんてめったにゆってくれへんのに！ホントに嬉しかった。こんなメールくれるなら、もっと子供産みたあ～い！

作品 2



受賞者: 石原 奈美さん

タイトル: 「彼への癒しメール」

<エピソード>

彼が仕事で大変な時に少しでも元気ができるように色々考えて作ったメールです！夜勤でこのメールを見たときホッとなごんだそうです。

第5回NTTドコモ北陸賞(昨年度) 受賞作品の紹介

作品 1



受賞者:石田 理恵さん

タイトル: 「いつもありがとう。」

<エピソード>

いつもおいしい料理を作ってくれる母への感謝をメールに込めました。

作品 2



受賞者:長谷 かほりさん

タイトル：「(笑顔の絵文字)」

<エピソード>

自分の大すきなしん友が最近元気がなくて、☒でも『  』こんな絵文字ばっかだったときになんて言葉を返してあげればイイのか思いつかなかった  だけどせめて悲しい顔はしてほしくない !!

と思って、笑顔でいてほしい という気持ちを込めて送りました  

少しは元気になったかな  ?

第5回NTTドコモ関西賞(昨年度) 受賞作品の紹介

作品 1



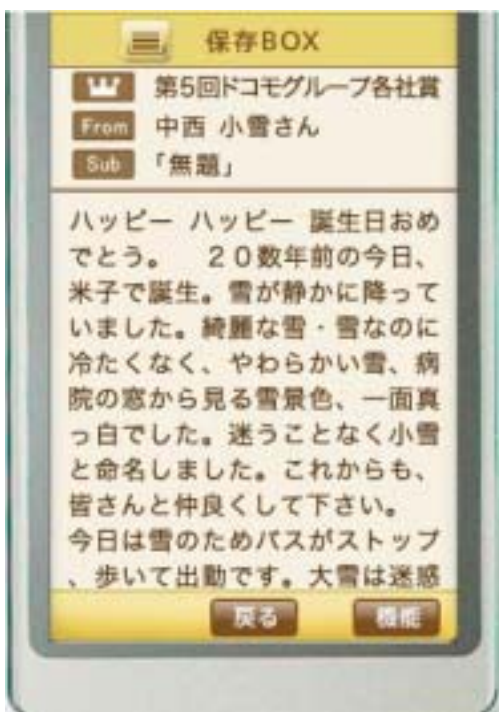
受賞者: 今坂 久美子さん

タイトル: 「ごめんね」

<エピソード>

一人暮らしをしていて、実家に帰るのは月に一回程度。実家に帰ったときに、父とケンカをして、すぐに自分の家に戻った。そのときに父から受信したメール。これを見て、やりすぎたなと反省した。

作品 2



受賞者: 中西 小雪さん

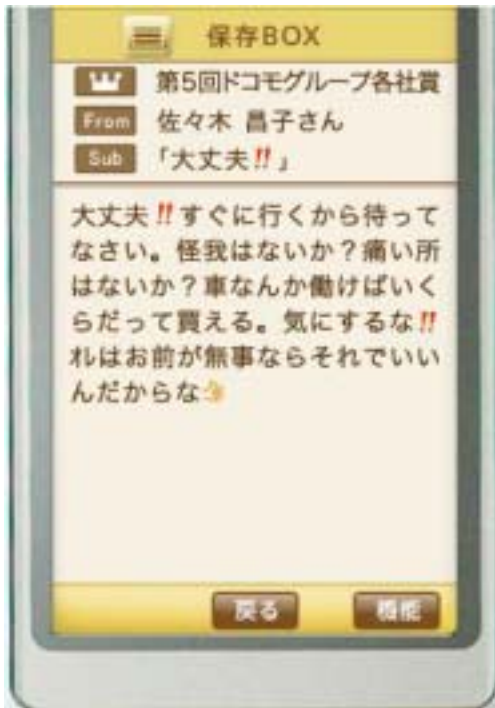
タイトル: 「無題」

<エピソード>

私の誕生日に 父からのメールでした。
嫁いで1年・・・
29歳になると分かってるのに、20数年前と言ってくれる父に感謝！(^_^)

第5回NTTドコモ中国賞(昨年度) 受賞作品の紹介

作品 1



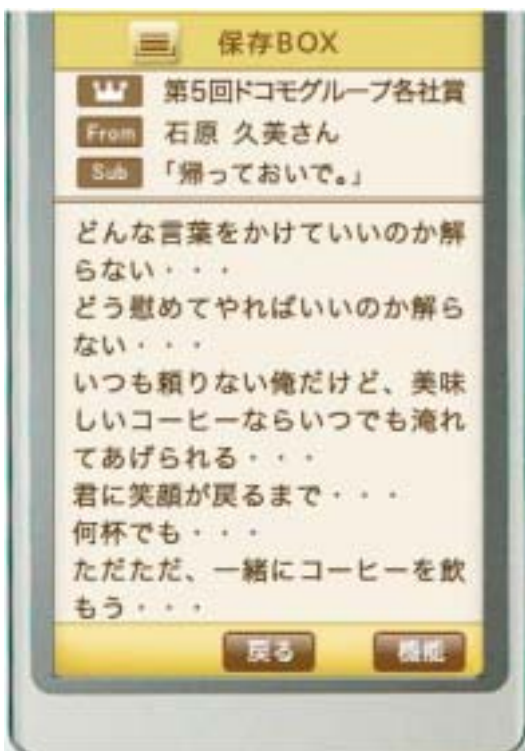
受賞者: 佐々木 昌子さん

タイトル: 「大丈夫!!」

<エピソード>

買ったばかりの新車で私が事故ってしまった時に、主人が私を落ち着ちつかせる為に送ってくれたメールです。読んだ後、不思議と落ち着いて主人の到着を待つことができました。

作品 2



受賞者: 石原 久美さん

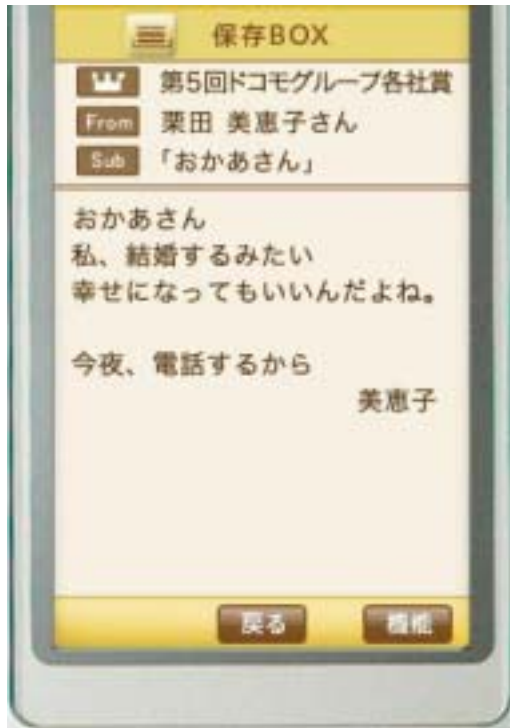
タイトル: 「帰っておいで。」

<エピソード>

主人は純粋で真面目で繊細で気が小さくて... 私は気が強くて口が悪くて男勝り... 主人の前ですら自分の弱い所を見せるのは苦手だし、見せたくない、いつも強がってました。このメールは私が三人目を流産してしまい、悲しくて悲しくて、辛くて辛くて、でもやっぱり主人には涙が見せれずに家を飛び出して行った時のものです。今まで張りつめていたものが一気に切れて、すぐに家に帰って主人に抱きつき号泣してしまいました。主人の気持ちもコーヒーもとても温かったです。

第5回NTTドコモ四国賞(昨年度) 受賞作品の紹介

作品 1



受賞者: 栗田 美恵子さん

タイトル: 「おかあさん」

<エピソード>

長く病気を患っていたので、結婚はあきらめていました。

でも、大変良い方にめぐり合うことが出来て、プロポーズされた時に出したメールです。

自分でもまだ実感がなかったのですが、長い間両親には

ずいぶん苦勞をかけたので、本当にうれしい、というか

本当にいいのかなって感じでした。

作品 2



受賞者: 石川 希さん

タイトル: 「今日はハンバ-グよ〜！」

<エピソード>

いつもお仕事頑張ってる、主人の好物はハンバ-グ！

それで、早く帰ってきて〜という意味で長男(3才)が“はよ、もんでこいよ〜”と、家の窓から外に向かって大声で叫んでいる姿をデコレーションしました！

第5回NTTドコモ九州賞(昨年度) 受賞作品の紹介

作品 1



受賞者: 武田 まゆみさん

タイトル: 「Re:」

<エピソード>

私達夫婦は「仕事の愚痴を言わない」のが暗黙のルールです。私が仕事で壁にぶつかり、残業続きでスランプだった時、職場でも愚痴れず悶々とする中、仕事上の彼に『仕事で凹んでる』というニュアンスのメールを送ったら、このメールをもらいました。夕食もつくる余裕がないほど仕事に追われていましたが、ふと力がぬけキモチがラクになり、彼の優しさにふれ涙がでました。勿論、その日は仕事をおいて帰宅し、夕食作って、焼酎呑みながら愚痴を聞いてもらいました。やっぱりこの人と結婚してよかったなあ。

作品 2



受賞者: 石川 のぶ子さん

タイトル: 「ゴハンタケタヨスグカエレ」

<エピソード>

友達と遊んでいるとき祖母から家族に一斉メール。友達まで家についてきちゃいました。